

大阪府立金岡高等学校のアスベスト対応について

1 事案の概要

- 平成 24 年度に実施していた普通教室棟の耐震補強並びに大規模改修工事の施工中において、校舎庇の軒裏に吹き付けられていたアスベストを平成 24 年 10 月 24 日から 11 月 19 日の約 3 週間、アスベストが外部に露出し飛散するという事故が発生した。
- 事故発生以降、第3者を交えた検証機関として、平成 25 年 6 月に「大阪府立金岡高等学校アスベスト飛散事故に関する協議会」を設置し、同協議会の中で、事故に至った過程、アスベスト曝露量、健康リスクの評価検証を専門家に意見を伺いながら進め、平成 30 年 1 月に同協議会から「アスベスト飛散事故に関する検証結果報告書」が出された。
検証結果報告書については[こちら](#)
大阪府ホームページ「金岡高校アスベスト関連」は[こちら](#)
- 特別教室棟4階について、囲い込み対策工事を行ってきたが、廊下、視聴覚室、音楽室、トイレの天井内の鉄骨部分に吹き付けアスベストが残存しており、これまで年 1 回空気環境測定を行い、アスベストが飛散していないかを確認してきた。
- 令和 7 年 11 月 17 日に空気環境測定を行い、特別教室棟4階の廊下で空気 1 ℓ 当たり 0.51 本の総繊維濃度が検出され、その繊維がアスベストであると判明した。
その後の空気環境測定の結果は、「2 特別教室棟 4 階における空気環境測定結果（令和 7 年 11 月以降）」を確認してください。
- 令和 8 年 4 月 15 日にアスベスト対応に係る保護者説明会を開催した。
保護者説明会での主な発言については[こちら](#)
- 4月17日に大阪府教育庁において[報道資料提供](#)
- 令和 8 年 7 月にアスベスト対策として天井補修工事や清掃作業を実施し、空気環境測定を行い、アスベストが検出されていないことを確認した上で、8 月 6 日から特別教室棟 4 階の教室等の使用を再開した。
金岡高校アスベスト対策については[こちら](#)

2 特別教室棟 4 階における空気環境測定結果（令和 7 年 11 月以降）

測定日	測定結果（総繊維濃度など）
令和 7 年 11 月 17 日	空気 1 ℓ 当たり 0.51 本 繊維がアスベストであると判明→換気を実施
令和 7 年 11 月 24 日	空気 1 ℓ 当たり 0.056 本未満
令和 8 年 3 月 17 日	空気 1 ℓ 当たり 0.056 本未満
令和 8 年 4 月 4 日	空気 1 ℓ 当たり 0.056 本未満
令和 8 年 5 月 25 日	空気 1 ℓ 当たり 0.056 本未満 （保護者説明会での要望を踏まえて、空気が動いている状態（生徒等が活動している状態を想定）で測定）

令和８年６月２５日	空気１ℓ 当たり 0.056 本未満
令和８年７月２８日	空気１ℓ 当たり 0.056 本未満 （アスベスト対策として天井補修工事や清掃作業を実施した後に測定）
令和８年９月１２日	空気１ℓ 当たり 0.056 本未満 （保護者説明会での要望を踏まえて、空気が動いている状態（生徒等が活動している状態を想定）で測定）

３ アスベスト対策委員会について

本件事故を風化させないため、今回の事案を踏まえ、７月に校内のアスベスト対策委員会を設置し、

- （１）大阪府立金岡高等学校アスベスト飛散事故に関する検証結果報告書における今後の対応に関する確認
- （２）アスベストが今後万一検出された場合の対処方法の確認などを行った上で、職員会議で情報共有していきます。